

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第3年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	株式会社イトーヨーカ堂		
事業所の名称	イトーヨーカドー仙台泉店		
事業所の所在地	宮城県仙台市泉区泉中央1-5-1		
主たる事業	各種商品小売業		
事業者の該当要件	<input type="radio"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	<p>【基本方針】</p> <p>1・事業活動を通じ環境負荷を最小限にし仕事の仕組を作り環境の保全に取り組む。</p> <p>2・事業活動を通じた環境保全活動を定期的に見直し、継続的な改善に努める。</p> <p>3・環境保全に関連する法規制を遵守する。</p>		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019 年度	基準排出量	3,641 t-CO ₂	基準原単位	15.24
	目標年度	2022 年度	目標排出量	3,532 t-CO ₂	目標原単位	14.78
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020 年度	排出量	3,615 t-CO ₂	排出原単位	15.5
			削減率	0.71 %	削減率	-1.71 %
	排出量等の増減理由	新型コロナウイルスの影響で4月中旬から5月末までの全国緊急事態宣言に伴い営業時間の短縮等があったことや正月の元日営業を取りやめたことにより原単位の根拠が生産数量又は建物床面積その他エネルギーの使用量と密接な関係性を持つ値が面積×営業時間ので算出しており営業時間の減少により原単位が上昇してしまったため。昨年の猛暑・厳冬により冷房、暖房機器をフルで運転していたためエネルギー使用量も大きくなった。営業短縮を行っても時間外に空調機、照明等を使用しているため、大幅なエネルギー使用量減とはならなかった。				
	第2年度	2021 年度	排出量	3,635 t-CO ₂	排出原単位	15.44
			削減率	0.16 %	削減率	-1.32 %
	排出量等の増減理由	テナントにおいても時短営業を取りやめ、通常の建物営業時間となったが大きくエネルギー使用量が増加となることはなかった。1月の気温の低下、7月早い段階からの猛暑により冷房、暖房機器の稼働率が高くなり、運転時間の調整等を行ったが大幅な使用量減少とはならなかった。				
	第3年度	2022 年度	排出量	3,349 t-CO ₂	排出原単位	14.18
			削減率	8.01 %	削減率	6.95 %
	排出量等の増減理由	2022年9月より2F～4Fフロアの時短営業が実施となったこと、店内LED照明の多くを新しいものへ取り替えたことに加え、燃料費高騰に伴う各所節電対応を全店にて行う指示をいただき、電力量が大きく減少となった。1月、2月の平均気温の低下がありガス使用量は前年を上回ったが、全体として大幅なエネルギー使用量減となった。				

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	89 %	目標年度	89 %
	第1年度	94 %	実施状況の説明等	5の3-1については新型コロナウイルスの影響により会議未実施
	第2年度	94 %	実施状況の説明等	昨年度同様5の3-1については新型コロナウイルスの影響により会議未実施
	第3年度	94 %	実施状況の説明等	昨年度同様5の3-1については新型コロナウイルスの影響により会議未実施
選択対策の実施状況	項目			実施状況
	外気冷房			実施済
	熱源設備 冷却水温度の適正管理			実施済
	熱源設備 冷却水の水質管理			実施済
	冷温水ポンプの回転数制御、自動流量制御			実施済
	デマンド管理			実施済
	ファン、ブロワ、給気系統の保全管理			実施済
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)			実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容		実施状況
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	イトーヨーカ堂施設管理部東北地区エリア会議(5月10日)にて各店省エネ手法交流		未実施
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	イトーヨーカ堂全国共通(節電対策マニュアル)レベル2実施(別紙添付)		実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	節電対策マニュアルとは異なる、内装照明消灯基準の全店展開		実施済